槵觸神社周辺の神話史跡散策案内図

至　国道２１８号線
高千穂バイパス

至　荒立神社

槵觸神社拝殿・本殿

高千穂顕彰碑

高天原遥拝所

四皇子ケ峰参拝所

至　高千穂小学校

夜泣石

天真名井

手水舎

相撲場

社務所

御手洗

遊歩道

遊歩道

風土記
万葉の丘

高天原遥拝所

四皇子ケ峰社

四皇子ケ峰社

四皇子ケ峰参拝所

四皇子ケ峰社・遥拝所鳥居

槵觸神社駐車場

神話史跡コース遊歩道

神代川

至　三田井市街地
高千穂神社・高千穂峡
がまだせ市場

狭山トンネル

至　国道二一八号線
天岩戸神社

高千穂町立中央公民館
高千穂町立図書館
高千穂町立中央体育館

【槵觸神社】

天孫天邇岐志國邇岐志天津日高日子番能邇邇藝命（あめにきしくににきしあまつひこひこほのににぎのみこと）が降臨された「久士布流多氣（くじふるたけ）〈日本書紀　槵觸峯〉」に鎮座する神社です。

古くは山そのものを神山として崇めていました。

元禄元年（１６８８）に延岡藩主有馬清純が社殿建築を許可しましたが、清純候は元禄５年に越前糸魚川へ転封となり、着手にいたらず、次の藩主三浦壱岐守明治敬の時、十社宮（高千穂神社）大宮司田尻乗信の願いにより、元禄７年〈１６９４〉６月１５日に造営遷宮されています。その後、宝暦１４年（１７６４）安永４年（１７７５）等に修復されています。本殿両袖周囲には昇り龍・下り龍をはじめ支那二十四孝物語の代表１５の彫刻が施されています。明治６年５月２５日、旧称槵觸大明神は二上神社と改称し、県社となりましたが、同４３年１１月１９日に槵觸神社と改称旧名に復しています。築後３００年を経て昭和４６年より、拝殿・本殿の屋根吹替え等を行い、参道入口の大鳥居は昭和５９年４月に竣工落成しています。

祭 神　天津彦彦火瓊瓊杵尊（日本書紀神名）
天児屋根命、天太玉命、経津主命、武甕槌命

例祭日　１０月祝日（体育の日）

【四皇子ケ峰参拝所】

五瀬命（いつせのみこと）・稲氷命（いなひのみこと）・御毛沼命（みけぬのみこと）・若御毛沼命(神武天皇)の四皇子がお生まれになった所と伝えられています。参拝所の西隅に昭和９年に建立された皇紀二千六百年（１９４０）記念の碑があります。県南では高原町に四皇子誕生の地として皇子原があり、狭野神社に祀られています。

【高天原遥拝所】

高天原から降臨された神々が天を懐かしみ、遥拝された所と伝えられています。天と地を結ぶパワースポットといわれます。

【風土記・万葉の丘】

高天原遥拝所中腹の丘は、近年高千穂神社後藤俊彦宮司が「風土記・万葉の丘」と名付けられています。

境内地の丘には高千穂顕彰碑、川田順歌碑、梅原猛氏植樹木があります。高千穂顕彰碑は甲斐徳次郎氏（旧岩戸村長・県議歴任郷土史家）の「皇祖発祥の聖地に日向風土記逸文、万葉集の古歌を刻した碑を建て、民族精神興隆の一基石となさん。」との提唱により、昭和 41 年２月 11 日に石碑が建立され、同年 11 月 11 日に名誉総裁高松宮宣仁親王殿下の御臨場を仰ぎ、除幕式が行われています。

《記紀神話・日向風土記に記された天孫降臨の聖地》

○古事記　筑紫日向之高千穂之久志布流多気

○日本書紀　日向之襲之高千穂峯（ひむかのそのたかちほのたけ）
日向之高千穂之槵觸峯
日向之槵日之高千穂峯
日向之槵日之二上峯之天浮橋
日向之襲之高千穂添山峯（そほりやまのたけ）（現　祖母山）

○日向風土記　臼杵郡内知鋪郷　日向之高千穂二上峰